

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年07月05日

計画の名称	災害につよいまちづくり												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	福野市												
計画の目標	市指定避難所周辺の道路を整備し、安全な避難、物資輸送を可能にする。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	325	A	325	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	市指定緊急輸送路と、避難所周圍半径500m以内の幅員9.5m以上の市道の延長を増加させる。防災機能強化の推進及び住民の防災意識向上を図り、安全に避難できる人口を増加させる。 市指定緊急輸送路及び指定避難所の半径500m以内の9.5m未満の市道を整備し、災害時における避難、物資輸送の安全化を図る。想定幅員構成9.5m(車道3.0m×2路肩0.5m×2歩道片側2.5m)対象範囲内の9.5m以上の道路延長を3%以上延ばす。現況16kmを16.5km以上に。 増加割合=(計画完了時の延長÷当初延長)×100	H26当初 100%	中間目標値 %	H30末 103%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	裾野市	直接	裾野市	市町村	交安	市道2383号線	歩道整備L=0.3km	裾野市						147	-	
	A01-002	街路	一般	裾野市	直接	裾野市	S街路	改築	(都)平松深良線(滝頭工区)	バイパスL=0.2km	裾野市						154	-	
	A01-003	道路	一般	裾野市	直接	裾野市	市町村	交安	(2)市道2-29号線	歩道整備L=0.3km	裾野市						24	-	
											小計						325		
											合計						325		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
令和元年度裾野市事業評価監視委員会(学識経験者2名を含む4名の委員)により評価	令和2年1月10日
	公表の方法
	裾野市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	事業が進捗、完成し、緊急輸送路としての機能を発揮できる状態になった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	
特記事項(今後の方針等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・3路線のうち、(都)平松深良線(滝頭工区)は「2-1市内渋滞箇所減少のための道路整備」事業へ移動する。 ・残り2路線は事業完了しており、緊急輸送路としての機能を発揮できる状態となっている。 ・以上のことから、本計画は終了するが、今後は、緊急時にその機能を発揮できるよう維持管理を行い、危機管理担当課とも協力をしていく。 ・今後、緊急輸送路及び避難所周辺の幅員9.5m以上の市道の整備進捗について、全体像を把握しやすいような管理データの整備を検討する。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	103%
	最終実績値	104%
		事業整備が順調に進められたことが要因と考えられる。